

きんそく オンライン講座でICT活用解説

2020/5/22 大阪

建設コンサルタントのきんそく（本社・京都市南区）は5月12日、本社と京都府内の受講者をつないでICT施工に関する講習会をオンラインセミナー形式で開催した。

同社では国土交通省が推進するi-Constructionや現状のICTの取り組み、活用事例などを建設業者らに理解してもらおうと講習会を企画。全国の主要都市で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインセミナーに切り替えた。今回、京都府内の建設業者7人が受講した。

講習会は「さらなる進化ICTの未来2020」「地域で勝ち残るためのICT活用事例2020」と題し、同社と協力業者の担当者が解説。国交省におけるICT活用工事の実施状況では活用工種が年々拡大し、発注件数が大幅に増加しているとした。

TLS（地上型レーザースカナー）およびUAV（無人航空機・ドローン）、マルチビーム（大型ラジコンボート）を活用した3次元測量や出来形評価、電子納品などを説明し、受講者にはCPDS5ユニットを付与した。

本年度に約20回の講習会を開催する計画で、全国の主要都市（東京・大阪・京都・名古屋・和歌山・福井など）で、オンラインセミナーを組み入れて開催する予定。

